

平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050401010602	事務事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		担当課長	仮屋園 修		
施策名	01	生活基盤の充実		グループ	公園管理グループ		
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2891		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H18 ~)			
	款	08 土木費		根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例		
	項	05 都市計画費					
	目	04 公園費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市の城山公園及び丸岡公園を除く都市公園について、指定管理者で運営・管理を行う。
 現在指定管理者と協定締結している。
 ※国分都市公園指定管理(18公園) 指定管理者:一般財団法人 霧島市施設管理公社 指定期間:H27. 4. 1~H32. 3. 31
 ※単人等都市公園指定管理(34公園) 指定管理者:公益社団法人 霧島市シルバー人材センター 指定期間:H28. 4. 1~H33. 3. 31

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	51	51	52	53	54
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる。	利用アンケートによる「期待以上に良かった」「期待どおりだった」「まあまあだった」の割合	%	91.3	92.0	98.6	99.0	99.5
イ	安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	213,166	220,000	216,943	217,823	218,923
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	憩いと交流の場が確保される	身近な地域で公園・広場が整備されていると考える市民の割合	%	60	65	60	65	65
イ	憩いと交流の場が確保される	市民一人あたりの公園面積	m ²	9	9	9	9	9
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

公園設置年から相当数の年月が経ち、修繕、改修の対象となる公園が多く、修繕費などの経費が今後増加することが予想される。最近グランドゴルフをされる方が増えて、コート内の維持管理について、芝の適正な管理などの要望が多くなされている。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	75,172	37,479	37,479	38,490	39,639
	事業費	千円	75,172	37,479	37,479	38,490	39,639

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <p>※国分都市公園指定管理 19,029,600円</p> <p>※単人等都市公園指定管理 18,448,560円</p>	<p>適切な維持管理(清掃・剪定・修繕等)により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能が確保できた。</p>

事務事業コード	0108050401010602	事務事業名	都市公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	住民が安心、安全、快適に利用できることは、憩いと交流の場が確保されることにつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	これまでの管理運営実績を活かし、施設の安全確保や効率的な管理運営を更に進め、利用者のニーズに対応したサービスの向上や利用拡大に努める。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、遊具の点検や除草・剪定等がなされず安心・安全・快適に利用できない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理料については、価格点を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は、図られている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、協定書の締結などを行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は全ての公園利用者に還元されており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○		○				
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	管理する都市公園が増えていく中、公園長寿命化に基く調査結果を踏まえ、緊急性の度合いにより優先順位をつけて改修を行っていくと伴に改修困難な遊具については安全性を考慮し対処する。さらに国分都市公園において上小川地区コミュニティ広場が追加されたことから、18都市公園を維持管理を行う。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	単人等都市公園に麓1号公園(溝辺地区)が開園したことから、シルバー人材センターが公園の維持管理を行う公園が35公園となり、これまで以上の業務が増加しこれまで管理した公園に影響が無いように注意をはらうよう指導をおこなう。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050401010603	事務事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		担当課長	仮屋園 修		
施策名	01	生活基盤の充実		グループ	公園管理グループ		
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2891		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H18 ~)			
	款	08 土木費		根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例		
	項	05 都市計画費					
	目	04 公園費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
 城山公園(国分)は、昭和53年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は15万8594㎡で、展望台(6階建725㎡)、休憩室(180㎡)観覧車、ゴーカート場(全長1300m)、電気自動車場、パターゴルフ場、児童広場(3600㎡)芝広場、SL展示、駐車場(268台)などの施設があります。営業時間は、9時30分～18時(4月1日～10月31日)9時30分～17時(11月1日～3月31日) 月曜日(休業日)

【指定管理者】
 公益社団法人 霧島市シルバー人材センター
 指定管理期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	1	1	1	1	1
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	18	18	18	18	18
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 安心・安全・快適に利用できる。	利用アンケートによる「期待以上に良かった」「期待どおりだった」「まあまあだった」の割合	%	95.2	97.0	98.8	98.9	99.0
イ 安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	79,624	80,100	111,790	111,903	112,003
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 憩いと交流の場が確保される	身近な地域で公園・広場が整備されていると考える市民の割合	%	60	65	60	61	62
イ 憩いと交流の場が確保される	市民一人あたりの公園面積	㎡	9	9	9	9	9
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

トイレの改築や40年経過し老朽化し展望所の剥離等の改善、現在の基準に適合しないエレベーターおよびパターゴルフ場の改修、また遊具の修繕を行い、安心して安心な公園施設を目指す。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,000	0	0	0	0
	一般財源	千円	38,431	17,691	17,690	16,832	16,154
事業費		千円	39,431	17,691	17,690	16,832	16,154
投入量							

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <p>※城山公園指定管理料 17,690, 400円</p> <p>※指定管理者にて利用頻度の高い電動カーを1台購入し計2台となった。</p>	<p>適切な維持管理(清掃・剪定・修繕等)により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能が確保でき、市民の方が利用しやすい公園管理に努めた。</p>

事務事業コード	0108050401010603	事務事業名	城山公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	住民が安心、安全、快適に利用できることは、憩いと交流の場が確保されることにつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の憩いの場である公園の安全性と利便性、機能確保のため指定管理者による公園としての環境確保、老朽化した施設の維持補修は、市民の身体的精神的な健康増進に寄与するため市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	これまでの管理運営実績を活かし、施設の安全確保や効率的な管理運営を更に進め、利用者のニーズに対応したサービスの向上や利用拡大に努める。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、遊具の点検や除草・剪定等がなされず安心・安全・快適に利用できなくなり、憩いと交流の場が確保されない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理料については、価格面を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は、図られている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、協定書の締結などを行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は全ての公園利用者に利用されており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・事業拡充 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○		○				
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	バターゴルフ場に隣接した、使用禁止としてきた便所を平成29年度に解体し同場所に新たに便所を新設する。さらに、老朽化した剥がれたバターゴルフ場の人工芝の一部張替えを実施する。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	築40年ほど経過し外壁に剥離等がある城山公園研修センターの改修や現在の基準に基いたエレベーターの改修を実施するとともに、朽化した遊具の修理を行う。さらにNTTケーブルの、さや管敷設工事を行い、腐食した観覧車昇降口の改修も実施する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成30年度 事務事業振返りシート (平成29年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050401010604	事務事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		担当課長	仮屋園 修		
施策名	01	生活基盤の充実		グループ	公園管理グループ		
基本事業名	06	公園・広場等の整備		内線番号	2891		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H19 ~)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	都市公園法及び霧島市都市公園条例	
	項	05 都市計画費					
	目	04 公園費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>【施設の概要】丸岡公園(横川)は、昭和43年に開園し多種施設を兼ね備えた総合公園で、敷地面積は27万2000㎡で、緑地公園、運動場、日本庭園、ゴーカート場(約1000m)スロープカー、遊具、バンガロー、レストラン等の施設があります。また公園施設の他にや園内には、農業交流センターや横川勤労者技術研修館が併設しております。公園施設の営業時間は、9時～17時 毎週火曜日(休業日)</p> <p>【指定管理者】きりしまPPP株式会社 指定管理期間 平成29年4月1日～平成34年3月31日</p>						

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	指定施設数	施設	1	1	1	1	1
イ	指定管理者による自主事業実施数	件	11	11	11	11	11
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	市民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる。	利用アンケートによる「期待以上に良かった」「期待どおりだった」「まあまあだった」の割合	%	94.0	100.0	97.0	98.0	99.0
イ	安心・安全・快適に利用できる。	年間利用者	人	101,443	106,000	138,561	139,990	140,408
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア	憩いと交流の場が確保される	身近な地域で公園・広場が整備されていると考える市民の割合	%	60	65	60	61	62
イ	憩いと交流の場が確保される	市民一人あたりの公園面積	㎡	9	9	9	9	9
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)	
複合遊具が老朽化により使用禁止となっているため、複合遊具の修繕が急務である。さらに、開園より50年経過しており、公園全体の再整備を検討していかなければならない時期となっている。	

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	20,921	12,142	12,256	12,097
事業費		千円	20,921	12,142	12,256	12,097	12,277
投入量							

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>		(2) 平成29年度の実績 (取組) <左記の実績(取組)による成果を記載>	
【指定管理料実績】 ※丸岡公園指定管理料 12,256,000円		適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる公園としての機能が確保できた。	

事務事業コード	0108050401010604	事務事業名	丸岡公園管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	住民が安心、安全、快適に利用できることは、憩いと交流の場が確保されることにつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の憩いの場である公園の安全性と利便性、機能確保のため指定管理者による公園としての環境確保、老朽化した施設の維持補修は、市民の身体的精神的な健康増進に寄与するため市が行うべきである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	これまでの管理運営実績を活かし、施設の安全確保や効率的な管理運営を更に進め、利用者のニーズに対応したサービスの向上や利用拡大に努める。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	廃止した場合、遊具の点検や除草・剪定等がなされず安心・安全・快適に利用できなくなり、憩いと交流の場が確保されない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理料については、価格面を含めた総合的な基準で選定を行っているため、一定の削減は、図られている。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者の選定手続き、打合せ、協定書の締結などを行っているが、指定管理者の適正な施設管理を確保するために、最低限必要な業務である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は全ての公園利用者に還元されており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・事業拡充					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○		○				
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	施設の更新や遊具の修繕等については、緊急性や安全性を考慮し、優先順位をつけて実施する。さらに31年度グラウンドゴルフ九州大会、翌年度国体が開催されることから各整備を行う。(駐車場整備・本部席増設・側溝敷設替)等また、平成29年6月より使用禁止としていたコンビネーション遊具のリノベーションの実施を行う。さらに、これまでゴーカートコースを横断しなくても遊具施設を利用できるような通路を確保するとともに運動広場に駐車場を整備する。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	指定管理者の意見も取り入れながら来園者の増加に繋がるよう、ともに知恵を出しながら公園としての機能回復を図っていく。さらに、平成29年度に策定した丸岡公園基本改修計画を基に都市計画課と連携を図りながら整備を推進していく。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報										
事務事業コード	0108010101020104	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業				担当部	建設部		
						担当課	建設施設管理課			
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				担当課長	仮屋園 修			
施策名	02	交通体系の充実				グループ	道路管理グループ			
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				内線番号	2765、2766			
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	道路法、道路法施行規則			
	項	01 土木管理費								
	目	01 土木総務費								
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	特になし				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市道の管理を行うために、市が管理する道路(市道)や橋梁の台帳(図面)を整備する。手順としては、市道や橋梁の認定・廃止・変更を行い、その後、台帳の補正を行う。台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア	認定・変更・廃止路線数	本	21	20	26	20	20
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市道(認定・認定外)	市道延長	Km	1,629	1,632	1,629	1,630	1,630
イ 橋梁	橋梁数	橋	650	650	652	653	653
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	改良率	%	48	48	48		
イ 安全・快適に移動ができる	渋滞箇所数	箇所	7	7	7		
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

新市になり、平成23年度において霧島市道の一括廃止、一括認定を完了したところである。また、平成24年度より道路地図情報システムを導入したことで、市道情報の共有化が可能となり、毎年度台帳の補正を行っているところである。市民・議会等からの意見・要望は無い。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,443	9,486	6,188	8,524	0
	事業費	千円	5,443	9,486	6,188	8,524	0

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
道路台帳補正 6.47km(26路線) (市内一円)	霧島市の道路台帳の整合性を保つため、前年度に道路改良等工事が完成し変更の生じた道路について道路台帳補正を行った。また、補正を行った路線については、路線の区域決定及び供用開始を告示した。道路台帳・橋梁台帳整備により市道の整備・維持の業務の効率化と市道に係る許認可申請に対する利便性・迅速性が向上した。また、交付税の基礎になる道路数値の整備が整った。

事務事業コード	0108010101020104	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れることから、ひいては安全で快適な移動ができることになる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路法により、市道という「市の財産」の全体像を管理することは、道路管理者の責務である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	台帳再編については、平成22年度には100%整備できたことから、平成23年度以降は毎年度の道路改良等を行った路線の道路台帳補正作業を継続して行う。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	新規・改良路線の詳細が把握できず、財産の管理・機能確保ができなくなる上に、地方交付税の算定基礎数値の変更ができない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	道路法により道路台帳及び台帳図を作成することが義務付けられているため、市道の道路整備完了に伴い補正しなければならないことや工法等を変更できないことにより削減の余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	台帳の基礎部分は、市職員が作成しているが、必要最小限の事務のため、削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の機能確保のための基礎資料の台帳を整備することなので、偏りはなく、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	市道の整備・改良等を完了した道路等を調査測量し台帳に反映させることにより、市有財産の管理用資料及び交付税等の資料として必要不可欠なものであるため、継続して事業を行う。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	道路改良等に伴い完成した道路等の道路台帳調査・道路台帳図への反映						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

1. 基本情報						
事務事業コード	0108020101020105	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部	
				担当課	建設施設管理課	
政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		担当課長	仮屋園 修	
施策名	02	交通体系の充実		グループ	道路維持グループ	
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全		内線番号	2761	
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費		根拠法令・条例等 道路法(第16条)		
	項	02 道路橋梁費				
	目	01 道路橋梁維持費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。主な業務内容は次のとおり。
 ①市道の陥没や側溝閉塞(落ち葉などで水路がつかまること)、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握
 ②現場状況確認
 ③実施要否判断
 ④関係機関と協議
 ⑤修繕や改修工事・委託の発注
 ⑥工事委託終了後の検査
 ※日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行ってもらっている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	585	700	603	700	700
イ 藪払い延長	Km	711	800	763	800	800
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	125,447	130,000	125,338	125,969	126,230
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	Km	1,606	1,606	1,607	1,607	1,607
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 安全に通行できる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	93.0	94.0	85.0	86.0	87.0
イ 良好な状態に保たれる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	93	94	85	86	87
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	道路に関する苦情件数	件	1,923	1,250	1,983	1,980	
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和27年の道路法の改定により、市道の整備と維持管理が市町村の義務となった。市道の老朽化、舗装の劣化、側溝等の不具合が多く発生している。また、高齢化に伴い、地域住民で行っていた藪払いができない地域が増え、市で対応してほしいとの要望も年々増加している。市道の維持修繕は道路利用者だけでなく、地域住民にも多大な影響があるために、早急な対応が求められている。
 住民からの苦情や要望の内容は、「藪払い」「側溝改修」「道路舗装の補修」が多い。
 平成21年9月議会で、「中山間地域では高齢化が進み自治会で草払いなどの管理が困難になっているが、今後どのように考えるか」の質問がなされた。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	300,630	312,235	318,191	302,235	302,235
投入量	事業費	千円	300,630	312,235	318,191	302,235	302,235

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
道路補修・側溝修繕を603件実施した。(国分地区が182件、単人地区が180件、溝辺地区が73件、横川地区が43件、牧園地区が42件、霧島地区が42件、福山地区が41件)また、その内、まちづくり計画にある要望も96件実施した。 ・道路維持管理・高所木伐採を24件実施した。(国分地区が15件、単人地区3件、牧園地区2件、霧島地区が1件、福山地区が3件) ・草払いを業務委託で763km実施した。 ・月曜日にパトロールを実施し、道路の不具合箇所を発見してもらった。	市道等における市民からの要望・苦情に対して、緊急に補修・修繕等の必要な箇所については、道路補修・側溝修繕等を実施し、要望・苦情を解消し、市民の安全な通行を図ることができた。

事務事業 コード	0108020101020105	事務 事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市道利用者及び周辺住民が安全に通行できることや、霧島市内の市道が良好な状態に保たれることは、安全・快適に移動ができることに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であり、市道の安全を確保するという点から妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	道路の劣化により年々修繕の箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望も増えている。また、修繕料や草払い委託料の経費の確保も難しく、現状としては、修繕による改善や草払いの作業延長を伸ばすことは難しい状況である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民の最も身近な生活道路である市道の維持管理を廃止・休止することは、円滑な車輛通行の妨げとなり、事故の誘発を招く。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市道の劣化が進む中、道路の補修や、地域の高齢化による草払いの要望が年々増加している。このような状況では、事業費の削減余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在は、草払いや修繕については、委託や請負により、市道の維持管理を継続的に行っている。職員は、住民からの苦情・要望処理や現場での状況判断、また、専門的知識を要する工法検討など対応する業務が多く、人件費を削減する余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民からの苦情・要望は地域によって偏りはあるが、市民の生活道路である市道の維持管理は、パトロールなども含めて要否を判断しているため、公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善						
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	道路の維持管理に関する市民からの要望については、緊急性の高いものについては早急に対応していく。また、維持管理業務の取組を組織的に協議し、今後も業者委託以外のものについては、職員や作業員、地域ボランティア活動等との連携を取りながら対応していく。							
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	委託業者及び市職員による市道パトロール強化に努め、危険箇所等を早期発見し、災害や事故等の未然防止を図る。道路の安全を確保することは、市民生活に直結しており、市道の維持管理業務は必要不可欠であることから、今後も増加していく要望等に迅速に対応していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
(1)事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

1. 基本情報							
事務事業コード	0108020101020107	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部		
				担当課	建設施設管理課		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		担当課長	仮屋園 修		
施策名	02	交通体系の充実		グループ	道路維持第2G		
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全		内線番号	2764		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	02 道路橋梁費					
	目	01 道路橋梁維持費					
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び国道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を、(1)年2回以上の道路の草払い(2)道路の清掃(ポイ捨てゴミ等の収集・処分)(3)道路の破損等の情報提供の活動を行う。事業費については、道路保全(草払い)区間に応じて、1団体につき30,000円～50,000円を限度に活動支援金を交付する。また、アダプトの道路区域には、アダプトサイン(看板)を設置する。これにより道路の環境及び機能の維持向上を図る。

※道路アダプト制度
 目的:道路の環境保全及びその機能の向上を図るため、美化活動を行う市民活動団体等と市が共に協力し、支え合う共生・協働による快適で美しいまちづくりを推進する。

対象となる団体:市内の企業等の法人又は5人以上で構成する地区自治公民館、自治会、老人クラブ、PTAその他活動の継続性が保たれる市民活動団体。
 対象となる道路:市道は、市が定めた道路(主要幹線道路)、国道・県道は市と協議がなされた道路で実施。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 道路アダプト制度の実施により、参加団体を募って、道路の草払い、清掃等を実施する	団体	64	74	60	65	70
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	30年度 (見込)	31年度 (見込)
ア 市民団体及び事業者団体	市民団体及び事業者団体数	団体	100	100	60	65	70
イ 霧島市内の市道・国道の主要幹線道路	指定道路及び指定区間延長	Km	90	90	61	63	65
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア アダプト制度登録団体数を増やす	この事業により道路環境保全に取り組む市民団体・事業者団体数(累積)	団体	63.0	74.0	60.0	65.0	70.0
イ 草払い・清掃活動等が行われる	アダプトによる道路の草払い延長(累積)	Km	64	75	61	63	65
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	道路に関する苦情件数	件	1,923	1,250	1,983		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

道路の環境及びその機能を維持するため、市民の要望などに基づき草払いを実施しているが、その草払いが、地区市民の高齢化などにより実施できない路線が増えている状況である。この状況を少しでも緩和するために、道路アダプト制度を平成24年度から始めている。

市民からの問い合わせや意見として、アダプト制度を霧島市が指定した路線以外でもできるようにしてほしいとの意見もあるので、路線の見直しを実施し、アダプト対応路線を増やしていきたい。また、外部評価委員会からも、作業中の事故防止のための安全指導や研修等を徹底し、地域における共生協働の意識向上を図りながら、成果向上を目指してほしいとの意見もある。

4. 事業費の推移		単位	28年度 (決算)	29年度 (予算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	31年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	2,700	0
	一般財源	千円	2,688	2,860	2,409	70	3,010
	事業費	千円	2,688	2,860	2,409	2,770	3,010

5. 平成29年度の実績及び成果

(1) 平成29年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成29年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成29年度で新規登録団体として6団体を追加登録し、また退団団体が9団体の合計60団体による草払い・清掃等実施延長が61.3kmであった。道路環境及び道路機能の維持向上が図られ、安全で快適に移動できるようになった。

事務事業コード	0108020101020107	事務事業名	道路アダプト制度事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	道路アダプト制度を制定し、市民・事業者・行政が一体となり、市内の主要幹線道路の環境及び機能の維持向上を図ることで、通行車両や利用者が安全・快適に移動できる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路法第16条及び第42条の規定に基づいている。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	道路アダプト制度の普及を図ることにより、成果指標が向上できる。本市に適したアダプト制度が、市民・事業者・行政が一体となった取り組みが今後も普及し、成果向上に繋がる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	アダプト制度を廃止・休止することは、道路の通行に支障をきたし、美観景観が損なわれる道路が増える。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業 河川と市道で管理する対象が違うため統合はできない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	使用機材の燃料費等の活動に不可欠な最低限の費用であるので削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の人件費については、補助金交付に係る事務で削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設である道路の環境及び機能維持活動であり、一部の受益者に偏っておらず公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・事業拡充 >					
(1)平成31年度の事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○		○				
(2)平成30年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	引続き、自治会等を中心とした登録団体の加入を斡旋するとともに、企業等の民間会社へ参加を依頼するなど、登録団体の加入増を図り、道路の環境美化や機能を維持していく。						
(3)平成31年度の方向性(具体的な取組)	引続き、道路アダプト登録団体の増加を図るとともに、既存登録団体の登録期間更新を依頼し、継続したアダプト制度の充実を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局	建設部	堀之内 毅		
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○		○				
(2)総評	平成29年度の目標値を74団体としたものの、平成29年度の実績値は60団体にとどまったため、引き続き登録団体の加入増を図りながら道路の環境美化や機能を維持していくための活動を推進する必要がある。						

